倫　　理

（解答番号 1 ～ 33 ）

第１問　高校生ＡとＢが登校中に交わした次の会話を読み，後の問い（**問１～８**）に答えよ。なお，会話と問いのＡとＢは各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ａ：倫理の授業のことだけど，自分たちが生きているのとは異なる時代や社会における<u>ⓐ様々な正義の考え方</u>が出てきて，覚えるのが大変だよね。

Ｂ：確かに。すぐには理解できないものもあるけど，色んな正義がそれぞれ実際に<u>ⓑ人々の生き方</u>と密接に関わってきたんだよね。

Ａ：そうだね。そうした正義によって，みんなが調和して暮らせるような社会を築こうとしていたのかな。

Ｂ：ひょっとしたら，正義は<u>ⓒ人間相互の関係</u>の中で必然的に求められるものって考えられるかもしれないよ。

Ａ：それは，正義を私たちの<u>ⓓ共存</u>のために必要なものとして捉えるってこと？

Ｂ：そう，そうすれば今の私たちが正義と思うものとの共通点が見えてくるかも。例えば，人々を対等な関係にあるものとして扱う<u>ⓔ平等</u>の観点なら，私たちになじみのない正義の中にも見いだせそう。

Ａ：なるほど。でも，それなら，異なる正義観が生じるのはどうしてなんだろう…。人間の捉え方がそもそも異なるとか？

Ｂ：というと？

Ａ：つまり，人間相互の関わりの中で正義を見るなら，そもそも<u>ⓕ人間の本性</u>がどう考えられているかが大事で，そこから正義の考え方の違いも生じているんじゃないかって。

Ｂ：確かに。そこが違えば，正義の意味やあり方も違ってくる。

Ａ：そう，だから正義について学ぶときには，<u>ⓖ人間の本性を踏まえた上で，人はどう振る舞うべきだと考えられてきたのか</u>を見る必要があると思う。あれ…，授業で学んだことを再確認したくなってきたぞ…。

Ｂ：よし，放課後，図書館に行って，正義や人間の本性についてもう少し調べてみよう。

問 1　下線部ⓐに関連して，様々な宗教において正しいとされる事柄についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 1

① イスラームにおいては，ムハンマドが啓示を受ける以前のアラビア社会の宗教的伝統を遵守して暮らすように厳しく命じられている。

② ヒンドゥー教では，バラモン教で形成された身分制度は否定され，全ての人を平等とみなし，宗教的義務を果たすことが要求された。

③ 仏教の在家信者には，不妄語，不偸盗などの五戒が行為規範として課せられていたが，出家信者にはさらに多くの戒律が課せられていた。

④ ユダヤ教の十戒においては，唯一神ヤハウェ以外の神々を崇拝してはならないことや救世主(メシア)を待望すべきことなどが定められている。

問 2　下線部ⓑに関して，様々な宗教や思想とそれに基づいた生き方についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 2

① パリサイ(ファリサイ)派は，律法によって人々の生活を厳格に規定しようとする態度を批判し，ユダヤ教徒としてより柔軟な生き方を求めた。

② アリストテレスは，倫理的徳に基づいた政治的生活を送ることが人間にとって最も望ましい生き方であり，最高の幸福をもたらすと考えた。

③ ジャイナ教の信者はその多くが，不殺生の戒めを遵守することができる農業従事者として生活していた。

④ 老子は，自然に身を委ね，村落共同体のような小さな国家において素朴で質素な生活に満足する生き方を理想とした。

倫　理

問 3　下線部ⓒに関して，ＡとＢは，授業で配付された次の**資料**を読み，後の会話を交わした。会話中の［ a ］・［ b ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 3 ］

> **資料**　クルアーンより
>
> おお，信ずる者たちよ，どの民にも他の民を嘲笑させてはならない。これら(嘲笑される民)はそれら(嘲笑する民)よりもすぐれているかもしれないのだから。……おまえたち，互いに悪口を言うものではない。悪いあだなをつけあってはならない。信仰にはいったあとで邪悪な呼称をつけることは悪いことだ。……おお，信ずる者たちよ，憶測をできるだけ避けよ。ある種の憶測は罪である。互いにさぐりあったり，陰口をたたいたりするではない。……神を畏れよ。まことに神はよく憐(あわ)れむお方，慈愛あつきお方である。

Ａ：人間相互の関係に着目してみるっていう話だけど，この**資料**には，［ a ］と書いてあるね。

Ｂ：そう，授業でも，イスラームでは自らの共同体を大事にし，ムスリム同士は［ b ］によって強く結び付いているって教わったよね。

① **a**　相手の方がすぐれているかもしれないから，人を嘲笑してはいけない
　b　仲間として貧者を救済すること

② **a**　不確かな根拠に基づいて，人の悪口を言ってはいけない
　b　１日に５回，エルサレムに向かって祈ること

③ **a**　限られた情報を頼りに想像力を駆使して，人を総合的に評価すべきだ
　b　仲間として相互扶助を行うこと

④ **a**　憐れみ深く，愛に満ち溢(あふ)れたアッラーを崇敬しなければならない
　b　１日に５回，ムハンマドの肖像画を拝むこと

問 4　下線部④に関して，次の**ア**～**ウ**は，様々な宗教や思想における共存や共生についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 4

ア　イエスは，「敵を愛し，迫害する者のために祈りなさい」と述べ，隣人への愛が自分と共に生きている同胞に限定されてはならないとした。

イ　墨家は，広く他者を愛して互いに利益をもたらし合うべきだとし，人々が平和のうちに共存する社会を理想とした。

ウ　ブッダは，自らが所有するアートマンに対する執着を捨て，他者のアートマンを尊重することで，他者と共に生きることができると説いた。

① **ア**　正　**イ**　正　**ウ**　正
② **ア**　正　**イ**　正　**ウ**　誤
③ **ア**　正　**イ**　誤　**ウ**　正
④ **ア**　正　**イ**　誤　**ウ**　誤
⑤ **ア**　誤　**イ**　正　**ウ**　正
⑥ **ア**　誤　**イ**　正　**ウ**　誤
⑦ **ア**　誤　**イ**　誤　**ウ**　正
⑧ **ア**　誤　**イ**　誤　**ウ**　誤

倫　理

問 5　下線部ⓔに関連して，ＡとＢは次の**資料１**・**資料２**を図書館で見付けた。後の**ア**・**イ**はブッダとパウロの思想についての説明，**ウ**・**エ**は**資料**の内容についての説明である。**ア**～**エ**から適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑨のうちから一つ選べ。 5

資料１　ブッダの言葉を収めた『スッタニパータ』より

　いかなる生き物であっても，怯（おび）えているものも動じないものも，悉（ことごと）く，……既に生まれたものも，これから生まれようとするものも，全ての生き物は，幸せであれ。

資料２　新約聖書「ガラテヤの信徒への手紙」（パウロ）より

　あなたがたは皆，真実によって，キリスト・イエスにあって神の子なのです。……ユダヤ人もギリシア人もありません。奴隷も自由人もありません。男も女もありません。あなたがたは皆，キリスト・イエスにあって一つだからです。

ア　ブッダは，この世のあらゆる生き物は絶えず変化してとどまることがないため，それらの生涯は苦とも楽とも断定できないと説いた。

イ　パウロは，十字架上でのイエスの死を，人間の罪のためのいけにえとして解釈し，これによって人間の罪が贖（あがな）われたと考えた。

ウ　**資料１**では，現在生きている生き物に対してだけでなく，未来の生き物に対しても，等しく幸せを願うことが説かれている。

エ　**資料２**では，信徒は全て神の子であるため，民族や身分，性別などを問わず，平等であることが説かれている。

① アとイ	② アとエ	③ イとウ
④ ウとエ	⑤ アとイとウ	⑥ アとイとエ
⑦ アとウとエ	⑧ イとウとエ	⑨ アとイとウとエ

問 6　下線部ⓕに関して，ＡとＢは次の**資料**を図書館で見付けた。荀子の思想と**資料**の内容についての説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 6

資料　『荀子』より

ことさらに何かをせずとも自然とそうであるというのが性であり，性から発する好悪喜怒哀楽を情といい，情が発するのに対して心が判断するのを思慮といい，心が思慮して能力をはたらかせるのが偽(作為)である。思慮を積み重ね，能力を重ね修めて，そうして後に完成したもののことも偽という。……孟子は「人が学問(して向上しようと)するのはその性が善だからだ」と言うが，そうではない。孟子は……性と偽の区別を理解していない。性とは学んだり取り組んだりしても獲得できないものである。……礼義は聖人の偽から生じたものであり，人の性から生じたものではない。……普通の人でも，禹*のようになることができる。

*禹：中国古代の聖人

① 人間は教育によって矯正し得ない欲望を生まれつき持つとする荀子は，**資料**において，孟子が学習などにより後天的に獲得されるものを，人の生得的な性質だと勘違いしているとして批判している。

② 人間が生まれつき持つ性質は欲望であり，生得的な善を備えてはいないと考える荀子は，**資料**において，性善説を唱える孟子を批判し，礼義は学びや取り組みによって後天的に習得し得るものであるとしている。

③ 人間における善を後天的な矯正の産物であるとする荀子は，**資料**において，孟子が善を学問によって獲得できるとすることを批判し，そのようにして獲得されるものは偽物にすぎないから不要だと述べている。

④ 人間の本性は邪悪であり，善を身に付けることはできないと考える荀子は，**資料**において，人は学びを通じて礼義を習得すると考える孟子の説を，性を理解していない虚偽だと批判している。

問 7　下線部ⓖに関して，ＡとＢは図書館で見付けた次の**資料 1** と**資料 2** を比べ，後の**メモ**を作成した。**メモ**中の［ **a** ］～［ **c** ］に入る語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 7 ］

資料 1　プラトン『国家』で紹介されるソフィストの思想

全ての者の自然本性は，他人より多く持とうと欲張ることを善きこととして本来追求するものなのだが，それが法によって力ずくで平等の尊重へと，脇へ逸(そ)らされているのだ。

資料 2　キケロ『義務について』より

他人の不利益によって自分の利益を増すことは自然に反する。……我々が自己利益のために他人から略奪し他人を害するようになるなら，社会――これが自然に最も即している――が崩壊することは必然だ。

メモ

資料 1 によれば，ソフィストは［ **a** ］を重視し，これが社会的に抑圧されているとする。先生によると**資料 2** の背景にも，自然の掟(おきて)を人為的な法や慣習より重視するという**資料 1** との共通点があるとのことだが，**資料 2** では他者を犠牲にした［ **b** ］の追求は，自然に反する結果を招くとされる。さらに調べたところ，**資料 2** を書いたキケロの思想はストア派の主張を汲(く)んでおり，これは［ **c** ］の一つの源流とされているということを学んだ。

① **a**　人間の欲求　**b**　自己の利益　**c**　功利主義
② **a**　人間の欲求　**b**　自己の利益　**c**　自然法思想
③ **a**　人間の欲求　**b**　社会の利益　**c**　自然法思想
④ **a**　平等の追求　**b**　自己の利益　**c**　功利主義
⑤ **a**　平等の追求　**b**　社会の利益　**c**　功利主義
⑥ **a**　平等の追求　**b**　社会の利益　**c**　自然法思想

問 8　次の会話は，ＡとＢが図書館からの帰宅中に交わしたものである。42 ページの会話と次の会話の文脈を踏まえて，会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。なお，**①～④の b の記述内容自体は全て正しいもの**となっている。［ 8 ］

Ａ：これまで，教科書に色んな正義が書いてあって戸惑っていたけど，調べるほど面白いな。時代や文化を超えて正義に共通の理解みたいなものがあるって感じるし。

Ｂ：いつでもどこでも人間は共存して生きていかなければならないってことを念頭に置くと，それは当然のことなのかもしれないね。登校中に話し合ったように，［ **a** ］。

Ａ：でも，そもそも正義は時代や文化，さらには人によって全く異なっていて，正しい答えなんてないっていう考え方に惹(ひ)かれている人って，結構多そうな気がする。

Ｂ：自分が置かれた環境の中でどうにもうまくいかない状況にある場合には，そういう考え方は自分の思うままに振る舞うことへの言い訳になるからかもしれないね。

Ａ：そうだね。そういう考え方も，一方では自分を取り巻く規則や慣習を考え直すきっかけになるよね。けど他方で，自分の都合に応じて事実を捉えたり，規範なんて人間同士の約束事にすぎないものだとしたりする風潮を，そのまま肯定することにつながりかねないよ。

Ｂ：そうした風潮に流されず，むしろしっかりと向き合った上で，それを乗り越えることを目指して，私たちは，本当の正義や真理の探求を続ける必要があると思うな。例えば［ **b** ］ようにね。

Ａ：その思想家は，私たちがそうした営為を通じて正義の混乱を乗り越えられると期待したのかもしれないね。本当の正義とは何かっていうことについては，これからも私たち自身で考え続けていかなきゃいけない課題だよね。

倫　理

① **a**　時代や場所に関係なく，誰もが合意し遵守してきた絶対的な正義というものが存在しているというのは確かだね

b　孟子が，王の権威を相対化した上で，武力によって民衆を支配しようとする覇者たちの行為を否定するために，王道政治を求めた

② **a**　人間の本質をどのように考えるかによって，正義についての考え方が異なってくるというのも分かるけどね

b　プロタゴラスが，どんな事柄についてであっても，相互に対立するような二つの言論を成り立たせることができるとした

③ **a**　特定の正義概念が，あらゆる社会や文化を超えて全ての人々の生き方を規定しているというわけだ

b　荘子が，善悪や是非と言われるものは，立場が変われば，その価値が反転するようなものにすぎないと考えた

④ **a**　やっぱり正義は，人と人との関わり合いがあれば，そこに不可欠なものとして求められるものなんだと思う

b　プラトンが，感覚を通じて得られた事柄をそのまま受け入れる態度を批判し，魂を向け変えて事物の真の姿を探求するべきだとした

倫　理

第２問　以下のⅠ～Ⅲを読み，後の問い(問１～８)に答えよ。なお，会話と問いのCと先生は各々全て同じ人物である。(配点　24)

Ⅰ　次の会話は，日本思想についての倫理の授業後に，高校生Cと先生が交わしたものである。

C　：先生，私，自分で課題を設定して探究する授業が苦手です。私は教室で先生方の話を聞くのが好きなのに，「問い」を立てるのはうまくいかなくて…。問いって，どこから手をつけたらいいか分かりません。

先生：必ずしも問いそのものを特別なものと考える必要はありませんよ。先生方に授業内容について質問したり，仲間に将来の夢を尋ねたりすることなら，気軽にできるでしょう。それも問いです。どれほど高尚に思える問いも，そうした素朴な問いが原点にあります。そういえばこの間の授業で，ⓐ仏教について取り上げたときに，禅問答の話をしましたね。

C　：はい，私にはとても到達できない次元の問いだと感じました…。

先生：そうした身近なものに思えない仏教の問いも，実は素朴な問いに根ざしているのです。あなた自身も，例えば授業中に先生方の話を聞いていても，様々な疑問が，浮かんでは消えるでしょう。思考していれば，自然と浮かぶのが問いです。あなたももうできているはずですよ。

C　：先生の授業で，ⓑ日本の神々でさえも問いを発するのだと習いましたね。ⓒ念仏と救いの関係を問うた仏教者の授業も印象的でした。こうした問いが，素朴な問いから始まっているというのは，大変興味深いです。そうだ，次の授業では課題を立てるんでしたね。「問い」をテーマにします！

問 1　下線部ⓐに関連して，次の**ア・イ**は，仏教者についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 9

ア　最澄は，法華経に基づき，成仏できる人とできない人を，悟りの能力により区別することを重視し，前者のための学問・修行の制度を定めた。

イ　空也は，諸国を巡り，庶民に阿弥陀仏信仰を説くとともに，道を拓(ひら)き，井戸を掘り，遺棄された死者を火葬するなど，人々のために活動した。

① **ア**　正　　**イ**　正
② **ア**　正　　**イ**　誤
③ **ア**　誤　　**イ**　正
④ **ア**　誤　　**イ**　誤

問 2　下線部ⓑに関して，日本の神々についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 10

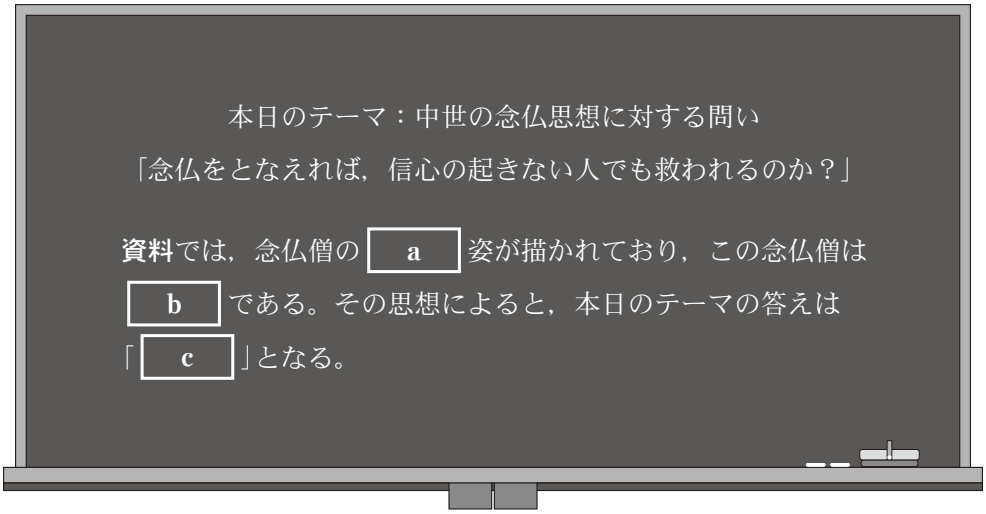
① 『古事記』によれば，イザナキとイザナミは日本の国土を生むに当たって，より上位の神の意向を問うたが，その命令に反発して従わなかった。

② 日本の神話における「天つ神」は，最上位の人格神であるため，全てを自分自身の判断で決定した。

③ より上位の神に奉仕し，その神意を問うアマテラスを，和辻哲郎は「祀(まつ)るとともに祀られる神」と規定し，その尊貴さを否定した。

④ 日本神話に登場するスサノヲは，アマテラスに心の純粋さを問われ，自分に清き明き心があるのを示すことに成功した。

問 3　下線部Ⓒに関して，次の板書と後の**資料**は，ある日の倫理の授業で用いられたものである。中世における念仏思想と**資料**の内容を踏まえて，板書中の［ **a** ］～［ **c** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。［ 11 ］



資料

「南無阿弥陀仏と一声となえれば極楽往生できると信じ，南無阿弥陀仏ととなえて，この名号札*を受け取って下さい」と念仏僧が言うと，相手の僧は「その信心は起きません。札を受けたら嘘（うそ）になります」と受け取らなかった。……念仏僧は「信心が起こらずともこの札を受け取りなさい」と相手の僧に名号札を押し付けてしまった。……（念仏僧は自らの行いの是非を問い熊野神社に籠もると，次のお告げを授けられた）……「お主（ぬし）が念仏を勧めることで，初めて全ての人間が往生できるということではない。阿弥陀仏がはるか昔に悟ったときに，全ての人間の往生は南無阿弥陀仏（の名号で成る）と決まったのだ。相手に信ずる気持ちがあろうがなかろうが，浄（きよ）い状態であろうがなかろうが区別せず，名号札を配りなさい」

*名号札：「南無阿弥陀仏」と書かれた札

① **a**　南無阿弥陀仏と一声となえるだけで往生が決定すると説く

b　法然

c　往生の可否は信心と無関係なのだから，信心の起きない人でも念仏をとなえれば救われる

② **a**　南無阿弥陀仏と書かれた名号札の力を一心に信じている

b　法然

c　信心の有無こそが往生の可否を決定するのだから，信心の起きない人が念仏をとなえても救われない

③ **a**　阿弥陀仏や極楽を心に思い描いて念仏する

b　法然

c　往生の可否は心の純粋さに関係があるのだから，純粋な信心によって念仏をとなえてこそ救われる

④ **a**　南無阿弥陀仏と一声となえるだけで往生が決定すると説く

b　一遍

c　往生の可否は信心と無関係なのだから，信心の起きない人でも念仏をとなえれば救われる

⑤ **a**　南無阿弥陀仏と書かれた名号札の力を一心に信じている

b　一遍

c　信心の有無こそが往生の可否を決定するのだから，信心の起きない人が念仏をとなえても救われない

⑥ **a**　阿弥陀仏や極楽を心に思い描いて念仏する

b　一遍

c　往生の可否は心の純粋さに関係があるのだから，純粋な信心によって念仏をとなえてこそ救われる

Ⅱ　次の**レポート**は，江戸時代において，どのような場面で「問い」が発せられていたかについて，Cがまとめたものである。

レポート

江戸時代には特定の文献を基に，仲間同士で問いと応答を交わす「会読」が流行し，伊藤仁斎も行った。問答形式で書かれた『童子問』で，ⓓ仁斎は「仁」について，「我よく人を愛すれば，人またよく我を愛す」と説いている。

また，ⓔ吉田松陰が牢獄で囚人たちと行った，『孟子』の会読も印象深かった。松陰は獄中でも，『孟子』の内容を切実に問うた。どんな境遇でも，誰に対しても，問いは生まれるものなのだと，私は松陰から教えられた。

問 4　下線部ⓓに関して，Cは同級生に対して，伊藤仁斎が下線部ⓓで説いていることを，身近な人間関係に即して説明した。伊藤仁斎が説く「仁」の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 12

① 人の心を，安易に信じては危ないよね。そんなものより，礼儀により外面を整えることが大事だと思う。私が先輩に挨拶すれば，先輩も私に挨拶を返す，この礼儀が「仁」だよ。

② 本当に大切なことは，日常の間柄にあるはずだよ。あらゆる偽りを排することを心掛け，私が弟に思いやりを持って接すれば，弟も私に思いやりを返す，この思いやりが「仁」だよ。

③ 人間の私利私欲は，厳しくつつしまねばならないよね。欲望から完全に脱することによって可能となるような，私が友人を思いやって友人も私を思いやる，愛に満ちた間柄が「仁」だよ。

④ 人間関係には，厳格さが必要だよね。人間の上下関係の秩序を重んじ，その道理と心を一体にすることによって可能となる，先生に対する正しい振る舞いが「仁」だよ。

問 5　下線部ⓔに関して，Cは，次の**資料**を基に，後の**スピーチ**を同級生に向けて行った。吉田松陰の思想と**資料**の内容を踏まえて，**スピーチ**中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 13 ］

資料

いま我々は囚人となり，また世間に出て陽（ひ）の目を見ることも望めない。お互いに学問を講じても……，何の功利があるだろうか云々（うんぬん），というのは，いわゆる利の説である。仁義の説はそうではない。……人と生まれて人の道を知らず……士と生まれて士の道を知らないのは，恥の最たるものではないか。もしこれを恥じる心があるならば，書を読み道を学ぶより他に方法はない。

（吉田松陰『講孟余話』より）

スピーチ

これは［ **a** ］を説いた吉田松陰が，獄中での『孟子』の会読と講義の意義を論じた文章です。松陰は獄中でも，問いをもって『孟子』を読みました。松陰は**資料**で，［ **b** ］ために問い，学ぶべきだと言うのです。……

① **a**　「誠」を掲げて，自己の心情の純粋さを追い求めること
　b　道をわきまえぬことを恥じる心に基づき，人としての道を知る

② **a**　「一君万民論」を唱えて，天皇のもとで国民が一体となること
　b　恵まれた境遇が巡ってきたときに，力を発揮する

③ **a**　武士道を儒学により体系化し，「士道」という武士のあり方を守ること
　b　士として生まれた以上，どんな境遇でも，士の道を知る

④ **a**　「死ぬこと」に武士道の本質を見いだし，ひたすら主君に献身すること
　b　書物の世界に没頭し，囚人という境遇から自由になる

Ⅲ　「問い」をテーマに日本思想について探究活動を行っているCは，毎日書いている日記を見返してみた。次の**日記**は，Cが，その中から主に倫理の授業の明治時代以降に関係する部分を抜粋したものである。

日記

○6月20日

先生からⓕ明六社の話を聞く。学者が問いと応答を交わす，明治時代の討議討論。江戸時代の会読でも，似たようなことをしていたな。それにしても，問いはどんな風に生まれてくるのだろう？

○7月11日

今日の授業でⓖ西田幾多郎について学んだ。西田は「人生の悲哀」が宗教や哲学の問いの根源にあると言う。「人生の悲哀」とは，誰もが生きている日常の中で経験する悩みや行き詰まりのことなのだろう。これまで問いは先生など目上の者であれ，仲間という同等の者であれ，他者に問うものだと思っていた。でも，「人生の悲哀」が問いの根底にあると考えるなら，それは他でもない自分自身の私的で内的な実感なのだから，他者に問う場合でも，その前提として，自分自身に向けて問うということがあるのではないか。実際に西田の講義は自問自答のスタイルだったらしい。西田の哲学する姿勢が教えてくれるように，自分自身への問いも，正真正銘の問いだし，そうした問いも，誰でも体験する感覚に由来するものなんだな。私が日記でしている自問自答も，西田の問いに通じるところがあるのかな？

○7月17日

改めて考え直してみると，問いをもって『孟子』を読んだ吉田松陰の牢獄での営みも，西田幾多郎の自分自身への問いも，私の自問自答も，問いであるという点では同じなんだよな。私は探究活動で使えるような問いを見付けるのは苦手だと思っていたけれど，自問自答なら得意なんだし，積極的に取り組んでみようかな。

問 6　下線部ⓕに関して，次の**ア・イ**は，明六社の一員についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 14

ア　封建的な一夫多妻に対して問題を提起し，夫婦平等の権利と義務を訴え，欧米を参考にした近代的な婚姻形態のルールを世に問うた。

イ　明治時代の日本の行き過ぎた西洋化に対して疑問を覚え，西洋思想を取り入れつつも，日本の伝統的な儒学に根ざした国民道徳論を世に問うた。

① **ア**　森有礼　　**イ**　加藤弘之
② **ア**　森有礼　　**イ**　西村茂樹
③ **ア**　加藤弘之　　**イ**　森有礼
④ **ア**　加藤弘之　　**イ**　西村茂樹
⑤ **ア**　西村茂樹　　**イ**　森有礼
⑥ **ア**　西村茂樹　　**イ**　加藤弘之

問 7　下線部ⓖに関して，西田幾多郎の哲学についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 15

① 主観と客観の対立から出発し，主観の根底にあるものとしての「場所」という考えを打ち出し，そこから純粋な客観的世界を説明した。
② 主観と客観の対立を乗り越えるべく，主観的なものを一切含まない，純粋な客観的世界としての「場所」という考えを打ち出した。
③ 現実の世界の根源的なあり方として，絶対的に対立するものが，矛盾しつつも同一性を保つという「絶対矛盾的自己同一」を唱えた。
④ 現実の世界においては，歴史の進歩に伴い，様々な矛盾は乗り越えられると考え，その成果を「絶対矛盾的自己同一」と名付けた。

倫　理

問 8　7 月末，Cは次の**資料**を学校に持参し，先生と後の会話を交わした。**資料**と 58 ページの**日記**の内容を踏まえて，会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 16 ］

資料

真の読書においては著者と自分との間に対話が行われるのである。しかも自分が勝手な問を発するのではなく，自分が問を発することは実は著者が自分に問を掛けてくることであり，しかも自分に問題がなければ著者も自分に問を掛けてこない。かくして問から答へ，答は更に問を生み，問答は限りなく進展してゆく。

（三木清『読書と人生』より）

C　：私は次第に，問いはいつでも誰に対しても生じるのだと考えるようになったのですが，さらに**日記**を書いていて，［ **a** ］ことに気付きました。三木清は，読書でも問いが不可欠だと言っていますね。

先生：そうです。読書中の問いについて，三木は何と言っていますか？

C　：はい，［ **b** ］ということですね。読書は他者への問いと自己への問いを兼ね備えた営みですが，読書などを通じて足元で生じた素朴な問いを，丁寧に拾い集めることが，自分の問いの始まりなんですね！

① **a**　他者に向けられた問いも自問自答も問いであることは同じである
　b　問いは次々に更なる新たな問いを生み出していく

② **a**　問いは他者に向けられることではじめて真の問いとなる
　b　問いを出すことで，問いと答えの応酬が生じてくる

③ **a**　西田幾多郎の問いと似たことを自分もしている
　b　読者は謙虚に，著者が次々と投げ掛ける問いにもっぱら従うべき

④ **a**　思想家たちの問いと自分の自問自答は区別しなければならない
　b　読者が思い付いた問いを，著者に気の向くまま投げ掛けてよい

第３問　以下のⅠ・Ⅱを読み，後の問い（問１～８）に答えよ。なお，会話と問いのD，E，Fは各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ⅰ　高校生DとEは，「自由」をテーマにオンラインでプレゼンテーションを行うことになった。次の会話は，その準備のために交わしたものである。

D：「自由」っていうテーマだけど，そもそも自由って何だろう？

E：ⓐ制約がない状態が自由じゃないかな。例えば，卒業すれば制服を着なくてもよくなるよね。それに，大人になって職を選んで働くようになれば，ⓑ経済の面での自由も手に入るじゃない？

D：なるほどね。でも，自由って制約がないことだけなのかな。先生が授業で，自由とは，制約がないだけではなく，自分の生き方を選択して自己決定することでもあるっていう考えを紹介してくれたよね。

E：そうだったね。じゃあ，今は自分で決めた進路のために遊びや部活動を控えて勉強しているけど，それも自分で決めているから自由っていうことか。

D：そうなるね。あと自由っていっても，自分勝手にすることとは違うと思う。皆が自分勝手な行動をとったら，衝突ばかり起きて，結局，自己決定も難しくなるかもしれないから。

E：だからⓒ規範や法みたいなある種の制約が必要だったのか。ということは，規範や法は単なる制約ではなくて，互いの意見や利害についての話し合いを促し，他者との対立から合意に向かう調整の役割もあるのかもね。

D：確かに。それに規範や法に支えられる自由だってあるんじゃない？　例えば，学校に通わなきゃいけないっていうある種の制約も，自分に必要な知識や技能を身に付けることを助けているし，自分がなりたいものになる自由につながるんじゃないかな。

E：なるほど…。ⓓ自由は単に制約から解放されることだけではないし，ある種の制約も私たちの自己決定を保障するためには必要なものなんだね。段々見えてきたね。じゃあ「制約からの解放」「自己決定」「規範や法」の三つを話題の中心にして，プレゼンの準備をしていこうか！

倫　理

問 1　下線部ⓐに関連して，次の**ア**～**ウ**は，中世の封建的な考え方から個人を解放したとされるルネサンス期の人物についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 17

ア　マキャヴェリは，政治を，宗教や道徳から切り離して，非道徳的な手段をとることを含め，あらゆる手段を使って人間を統治するものだと考えた。

イ　ラファエロは，メディチ家の庇護（ひご）を受け，人文学者と交わって古典を学び，「ダヴィデ」などの作品で，理想的な美しさを追求した。

ウ　ペトラルカは，『デカメロン』において，感情や欲望を人間の本性として生き生きと描くことで，人間性を解放しようとした。

①	ア 正	イ 正	ウ 正		②	ア 正	イ 正	ウ 誤
③	ア 正	イ 誤	ウ 正		④	ア 正	イ 誤	ウ 誤
⑤	ア 誤	イ 正	ウ 正		⑥	ア 誤	イ 正	ウ 誤
⑦	ア 誤	イ 誤	ウ 正		⑧	ア 誤	イ 誤	ウ 誤

問 2　下線部ⓑに関連して，経済を自由との関係で論じたアダム・スミスの思想についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 18

① 富を求める自由競争は，人間の利己心に基づいているものである場合には，社会的に容認されるべきではない。

② 各人の私益を追求する自由な経済競争に任せておけば，結果的に社会全体の利益が生まれる。

③ 資本主義経済では，生産手段を所有しない労働者はその労働力を資本家に売るので，生産物は資本家のものとなり，労働も強制されたものとなる。

④ 資本主義は，生命活動を自由なものとするために他者との関わりの中で生産を行う類的存在であるという意識を，人間から失わせる。

問 3　下線部Ⓒに関して，次のア～ウは，規範や法を考察の対象とした思想家についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 19

ア　快楽を求め苦痛を避ける存在である利己的な人間の行為を規制する強制力として，法律的制裁・道徳的制裁など，四つの制裁があると説いた。

イ　市民は，政府に立法権や執行権を信託するが，政府が権力を濫用する場合には，抵抗権に加え，新たな政府を設立する革命権を保持すると説いた。

ウ　この世界を統治する神の法と，人間の理性によって捉えられる法とは矛盾するものではなく，調和するものであると説いた。

① ア　モンテスキュー　イ　ロック　ウ　トマス・アクィナス
② ア　モンテスキュー　イ　ロック　ウ　グロティウス
③ ア　モンテスキュー　イ　ルソー　ウ　トマス・アクィナス
④ ア　モンテスキュー　イ　ルソー　ウ　グロティウス
⑤ ア　ベンサム　イ　ロック　ウ　トマス・アクィナス
⑥ ア　ベンサム　イ　ロック　ウ　グロティウス
⑦ ア　ベンサム　イ　ルソー　ウ　トマス・アクィナス
⑧ ア　ベンサム　イ　ルソー　ウ　グロティウス

問 4　下線部ⓓに関して，次の文章は，自由を論じたカントの思想についてある生徒が調べて作成した**読書ノート**の一部である。カントの思想を踏まえて，**読書ノート**中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 20 ］

読書ノート

カントは，自由を，［ **a** ］ことだと考えた。この自由についての考え方は，私が考えていた自由の理解とは大きく異なるものだと感じた。私はこれまで「眠くなったら，眠気に逆らわずに寝る」というようなことが自由だと思っていたが，カントによれば，それは自由ではない。むしろカントは，［ **a** ］自由な人格に尊厳の根拠を見いだしている。そして，［ **b** ］理想の道徳的共同体を目的の王国とした。

① **a**　感覚や知覚からなる経験から推論する
　b　各人が各々の欲求の充足を人格の目的として最大限追求しながら，誰もがその目的を実現できる

② **a**　欲望から独立して自分を規定する
　b　各人がお互いの自由を尊重して，自分だけに妥当する主観的な行動原則を目的として行動できる

③ **a**　自らが立法した道徳法則に自発的に従う
　b　各人が全ての人格を決して単に手段としてのみ扱うのではなく，常に同時に目的として尊重し合う

④ **a**　自然の必然的法則に従う
　b　各人が公共の利益を目的として目指す普遍的な意志に基づき，徳と幸福とが調和した最高善を目指す

Ⅱ　ＤとＥは勉強を重ね，オンラインで「自由」をテーマにしたプレゼンテーションを共同で行い，他校の高校生Ｆを交えたディスカッションに臨んだ。



Ｄ：……以上をまとめます。私たちは，上の**スライド資料**に示したように，自由について整理しました。

Ｆ：**スライド資料**の自己決定という側面について，気になることがあります。私は高校を卒業したら就職するつもりです。経済的にも自立して，主体的に自己決定を行う自由が手に入って自分の将来への期待もある反面，不安も感じてしまいます。好きに選べると，かえって何も選べないというか…。いっそのこと，誰かに決めてほしい気もしてしまうんです。

Ｄ：実は私も，迷ってばかりで先に進まない，自由を持て余している弱い自分を発見して，嫌になってしまうこともあります。自分はなんて<u>ⓔ無力で不安定な存在</u>なんだろうって。

Ｅ：確かに，自由がある種の強さを求めてくることってありますよね。でも人間は必ずしも強くなくてもよいと思うんです。自分の弱さを素直に認めることができれば，<u>ⓕ他者</u>の弱さを思うことができる。それに，迷いながらも下した選択は，迷った分だけ一層貴重に思えるのではないでしょうか。そう考えれば，<u>ⓖ自由の中で迷うこと</u>にも意味がある気がします。

Ｆ：そうか…。迷うこと自体が大事なんですね。私は，自由のネガティブな側面ばかりを見ていた気がします。敷かれたレールがなくなって不安になっても自由を手放さず，迷いながら自分で決定していきたいと思います。

問 5　下線部ⓔに関連して，次の**資料**は，パスカルが人間の惨めさについて論じた文章である。パスカルの思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 21

資料　『パンセ』より

人間の偉大さは，その惨めさからさえ引き出されるほど，明白である。……我々は，人間の本性が今日では獣のそれと似ている以上，人間は，かつては人間固有のものだった，より善い本性から堕ちたことを認めるのである。……王座を奪われた王でない限り，一体誰が自分が王でないことを不幸だと思うだろう。……自分に口が一つしかないからといって，誰が自分を不幸だと思うだろう。……我々にとって切実で，我々を喉首で押さえているこれらの惨めさ全てを見ながらも，我々には，我々を高めている押さえつけることのできない本能がある。……惨めさは偉大さから結論され，偉大さは惨めさから結論される。

① 人間が生きる三つの秩序のうち，愛の秩序こそ最上位にあると説いたパスカルは，**資料**では，人間は己の偉大さを深く省みることで，惨めにならずに済むと述べている。

② 信仰は己の惨めさから目を背けるための気晴らしにすぎないと主張したパスカルは，**資料**では，人間は本来偉大な存在だが，そのことが逆に人間の惨めさを一層際立たせると述べている。

③ 人間は虚無と無限の二面を持ち，その間を揺れ動く中間者だと考えたパスカルは，**資料**では，人間は偉大な存在だが，惨めさという不幸の中ではその偉大さを見いだすことはできないと述べている。

④ 真理は合理的推論ではなく繊細な心情によって直観されると主張したパスカルは，**資料**では，人間は惨めな存在だが，それは人間が偉大であることの証拠でもあると述べている。

問 6　下線部ⓕに関連して，他者についてのレヴィナスの思想の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 22

① 他者は，顔を持たない無個性な存在であり，根本的に私と区別が付かないものとして，私と出会う。

② 他者と私とは，対等なものとして顔を合わせ，お互いを自己同一的な人格として承認し合う関係である。

③ 他者とは，根本的に理解を超えた異質なものとして，彼方（かなた）から私をまなざす顔において，訴え掛けてくるものである。

④ 他者に出会うためには，私自身が，生きるための労働の領域から出て，活動の主体として公共空間に自らの顔を現して発言しなければならない。

問 7　下線部ⓖに関連して，Dと先生は次の会話を交わした。会話中で示された**資料**の内容を踏まえて，会話中の［ **a** ］に入る記述として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 23 ］

D　：先生，自由が迷いを生じさせることもあると思ってしまうんですが…。
先生：むしろ迷うことにこそ意味があるんです。ドイツ観念論の哲学者シェリングはこの視点を，次の**資料**の中で善と悪の問題から論じています。

資料　『人間的自由の本質』より
人間は，善と悪とに向かう自己運動の源泉を等しく自分の内に持つという頂きに位置付けられている。つまり，人間の内の両原理の結び付きは，必然的な結び付きではなく，一つの自由な結び付きである。人間は分岐点に立っている。人間が何を選ぼうとも，それは人間がなしたことになる。しかし，人間は未決定のままでいることはできない。

D　：私たち人間は善と悪の岐路に立たされる存在だと言っているんですね。
先生：そのとおりです。この**資料**では，人間は，［ **a** ］とされています。私たちは迷う存在で，そのことで悩むこともありますが，迷えないことはそもそも自由ではない，とも言えるのではないでしょうか。

① 善と悪の両方への可能性を自らの内に等しく持っていて，そのいずれかを選択する決断を下さざるを得ない点で自由な存在だ
② 善と悪への可能性を等しくは持っておらず，悪へ向かう傾向をより強く持つ存在だが，自ら選択する自由を有しているという点で自由な存在だ
③ 善であれ悪であれ，そのいずれへ向かうかを自ら選び決断する力はないが，善と悪への可能性をともに認識し得るという点で自由である
④ 善と悪への可能性を等しくは持っておらず，悪へ向かう傾向をより強く持つ存在だが，その悪への傾向が解消され得るという点で自由が保証される

問 8　次の**レポート**は，プレゼンテーションの後に，学びの振り返りとして，D，E，Fが共同で協議しながら作成したものの一部である。61 ページおよび 65 ページの会話を踏まえて，**レポート**中の［ a ］・［ b ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 24 ］

レポート

プレゼンテーションの準備で自由の特徴を学んだ。自由の特徴は，少なくとも制約からの解放・自己決定・規範や法という三つの観点から考えられることに気付いた。また，自己の自由を追求するとき，規範や法のようなある種の制約による調整が関係することも改めて明らかとなった。準備段階でのこれらの考察において，自由について，［ a ］と捉えた。

また，私たちは，自由を目の前にして自分の弱さや迷い，不安を感じることもある。特に，私たちが自己決定を行うときには，そうした感覚に陥ることがしばしばある。しかし，今回のディスカッションの中で，私たちにとって，［ b ］が重要だと考えるようになった。

① **a**　制約がない状態だけでなく，他者の自己決定との調整をも含むものだ
　b　自らの迷いや弱さと向き合いながら，それらを完全に払拭できなくても，自由を放棄しないこと

② **a**　ある種の制約や合意を通じて，自己決定を実現するものだ
　b　自らの迷いや弱さをはねつけるための強さを身に付け，主体的であることを決して放棄しないこと

③ **a**　自己決定の際に，共有されている規範を考慮する必要はないものだ
　b　自らの迷いや弱さを自覚し，自己の内に生じた不安と向き合いながら，自己決定を行うこと

④ **a**　あらゆる制約や規範が取り除かれた，自己決定に先立つものだ
　b　迷いや弱さを抱える他者を気遣い，寄り添う姿勢を決して失わず，他者の自己決定を支援すること

倫　理

第４問　高校生ＧとＨが交わした次の会話を読み，後の問い（**問１** ～ **９**）に答えよ。なお，会話と問いのＧとＨは各々全て同じ人物である。（配点　28）

Ｇ：すごい豪邸…，こんなⓐ家に生まれた子どもは運がいいね。不平等だな。

Ｈ：生まれた家とか国とか，ⓑ個人が選べないもので差があるのは，不平等だとしても変えられないよ。与えられた環境の中で頑張ることが大事だよね。この家の子どもだって，ⓒ社会で成功できるかどうかは本人次第だと思う。

Ｇ：いや，その子どもも，家が裕福なおかげでいい教育を受けて，将来お金を稼げるようになったりするでしょ。運の違いが生むⓓ格差は，社会が埋め合わせるべきだよ。

Ｈ：それって，幸運な人が持つお金を不運な人に分け与えるということ？　運の違いなんて，そもそも社会のあり方と関わる問題だとは思えないけど。

Ｇ：そう？　例えば，運よく絵の上手な人が漫画家としてお金を稼げるのは，漫画を高く評価するⓔ文化が社会にあるおかげでしょ。人のⓕ才能も，社会のあり方によって，運よくお金になったり運悪くお金にならなかったりするよ。

Ｈ：なるほど。けど，才能を成功に結び付けるのは社会だけじゃないよ。漫画家も才能を磨いてプロになるわけでしょ。そうしたⓖ努力については，個人を評価するべきじゃない？

Ｇ：一理あるね。ただ，努力の習慣が身に付くのも運による面はあるよ。地元の学校が「褒めて伸ばす」方針で，何事も頑張って取り組むようになったとか。努力できるようになるかどうかは，ⓗ社会の仕組みや構造に左右されると思う。

Ｈ：それはそうかも。ただ，同じ境遇でも，苦学して立派になる人もいればそうでない人もいるし…。最終的には，努力は個人の問題じゃないかな。

Ｇ：するとＨは，運の違いが生む格差は全て，個人が努力で乗り越えるべきだと言うの？　幸運な人と同じだけ努力した不運な人が，格差のせいで幸運な人に追い付けないようだと，不運な人の努力は評価されていないとも言えるよ。

Ｈ：確かに…。ただ，努力も全て運次第だからという理由で，努力する人がしない人と同じ扱いを受けるとしたら，それはやっぱり不公平じゃないかなあ。

Ｇ：そうだよね…。次の倫理の授業が終わったら，先生にも聞いてみようか。

問 1　下線部ⓐに関連して，現代の家族に関する次の文章中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 25 ］

従来は生活の基礎集団だった家族だが，血縁のない親子や兄弟姉妹を含む［ **a** ］が増加するなど，そのあり方は多様化している。生活環境の快適さを意味する［ **b** ］も，家族ではなく行政や企業が提供する場面が増えており，人々の生き方が所得や地域の格差から受ける影響は複雑化している。

① **a**　ディンクス　　**b**　アメニティ
② **a**　ディンクス　　**b**　ユニバーサルデザイン
③ **a**　ステップ-ファミリー　　**b**　アメニティ
④ **a**　ステップ-ファミリー　　**b**　ユニバーサルデザイン

問 2　下線部ⓑに関連して，次の**ア・イ**は，個人の自立を論じた人物についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 26 ］

ア　「青年ほど，深い孤独のうちに，触れ合いと理解を渇望している人間はいない」と述べ，自我の目覚めについて論じた。
イ　青年が親など周囲の大人への依存を離れて精神的に独立することを心理的離乳と呼び，それに伴う不安が個人の成長に必要であると説いた。

① **ア**　シュプランガー　　**イ**　サリヴァン
② **ア**　シュプランガー　　**イ**　ホリングワース
③ **ア**　マーガレット・ミード　　**イ**　サリヴァン
④ **ア**　マーガレット・ミード　　**イ**　ホリングワース

問 3　下線部Ⓒに関して，次の**資料**は，子どもの資質や環境と将来の成功の関係についての研究をまとめたものであり，倫理の授業で配付された。これを読んだ生徒の発言のうち，**資料**の趣旨に合致する発言として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 27

資料

子どもの自制心と将来の成功の関係を調べた心理学者ミシェルの実験に，「マシュマロ実験」と呼ばれるものがある。実験者は，子どもの前にマシュマロを１個置き，「戻ってくるまでマシュマロを食べるのを我慢できたらもう１個あげる」と伝えて一旦部屋を出た後，子どもたちの様子を観察した。子どもたちが成人した後に実施された調査では，より長い時間我慢できた子どもは，より学力が高く経済的にも成功していたという。

しかし，この実験では参加者が，親が高学歴である家庭の子どもに限られており，他の研究者たちが様々な家庭環境の子どもを参加者として再度実験を行ったところ，マシュマロを食べるのを我慢できる時間の長さよりも，家庭の経済状況の方が，将来の成功との関係が深いとされた。ただし，この新しい実験に対する批判的な指摘もあり，将来の成功に対して本人の資質と家庭環境のどちらがより大きく影響するかについては，研究者間での議論が続いている。

① マシュマロを食べるのを自制できる時間が長い子どもの方が，家庭環境を問わず将来成功するなんて，やっぱり自制心が大事なのかもしれないな。

② 当初のマシュマロ実験では参加者の家庭環境が限定されていたから，幅広い家庭環境の参加者から得られた結果と異なっていたのかもしれないな。

③ 成功している大人は，もし子どもの頃にマシュマロ実験を受けていたら，みんなマシュマロを食べるのを人より長く我慢できていたんだね。

④ 結局，マシュマロを食べるのを我慢できる時間の長さは将来の成功には全く関係ないんだから，家庭環境が大事だってことなんだね。

問 4　下線部ⓓに関して，次の**ア・イ**は，貧富の差に関わる思想や問題についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 28

ア　センは，経済の発展を促す国家の機能に着目し，その機能の集合である潜在能力を拡大させていくことで，貧しい途上国が自立できると説いた。

イ　途上国の貧困層が飢餓に苦しむのは，その国の農業が，先進国に輸出するための商品作物の生産を優先していることが一因である。

① **ア**　正　　**イ**　正　　② **ア**　正　　**イ**　誤
③ **ア**　誤　　**イ**　正　　④ **ア**　誤　　**イ**　誤

問 5　下線部ⓔに関連して，文化や宗教に関する説明として適当なものを次の**ア**～**ウ**から全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 29

ア　ホモ・レリギオーススという言葉は，神に祈りをささげるという宗教的な営みに重きを置く人間のあり方を，端的に表現したものである。

イ　日本の高校で茶道を教え，自国と他国の文化の優劣を明確にすることは，文化相対主義の考え方に基づいて文化の共生を促すことになる。

ウ　現代の世界で文化間の摩擦が増してくる中では，西洋とイスラームの衝突は不可避であるとするカルチャー・ショックの思想が説かれる。

① **ア**　② **イ**　③ **ウ**　④ **ア**と**イ**
⑤ **ア**と**ウ**　⑥ **イ**と**ウ**　⑦ **ア**と**イ**と**ウ**

倫　理

問 6　下線部ⓕに関して，次の**資料**は，ロールズが才能について論じたものであり，倫理の授業で配付された。ロールズの思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 30

> **資料**　ロールズ『正義論』より
>
> 人が持つ道徳上の価値は，どれくらい多くの人がその人と同じような技能を提供しているか，どれくらい多くの人がその人が生み出せるものを欲することになるか，といった事情によって異なるはずがない。……希少な生得的才能を持っているために人より多く稼ぎ出される所得は，鍛錬にかかる費用を賄(まかな)い，学ぼうとする努力を促すためだけではなく，共通利益を最大限高めるように能力を向かわせるためのものでもある。結果として生じる分配上の取り分は，道徳上の価値と相関するものではない。どのような天性の強みを生まれつき授かるか，その強みが若年期に発達し育つかどうかには，道徳的に重要な根拠があるわけではないから。

① 均等な機会の下での競争の結果であり，かつ最も恵まれない境遇を改善する場合にのみ不平等は許容されると説いたロールズが，**資料**では，人の道徳的な価値は才能や技能に対する需要で決まるものではないと論じている。

② 西洋思想の基礎にある，あらゆる二項対立的な図式を問い直す必要があると説いたロールズが，**資料**では，自らの才能を伸ばすことができるかどうかで人の道徳的優劣は決まらないと論じている。

③ 功利主義の発想に基づいて，社会全体の効用を最大化することが正義の原理に適(かな)うと説いたロールズが，**資料**では，才能ある人は道徳的な共通目標のために自らの私財を提供するべきだと論じている。

④ 無知のヴェールの下で正義の原理を決定しようとする際，人々は何よりも基本的な自由を重視することになると説いたロールズが，**資料**では，個々人の才能に応じて社会の利益を分配することこそが正義に適うと論じている。

問 7　下線部ⓖに関して，「まじめに努力していれば，いつかは必ず報われると思う」と「いくら努力しても，全く報われないことが多いと思う」という意見のどちらに自分の気持ちが近いかを，日本の様々な年齢の人に尋ねた調査がある。次の**図 1** は，その調査の 1988 年と 2013 年の結果の一部であり，後の**図 2** は，2013 年の結果と「あなたの生活水準が過去 10 年でどう変わったか」という質問への回答の関連を分析したものである。**図 1 ・図 2** についてＧとＨが交わした次ページの会話を読み，会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。［ 31 ］

図 1　「いくら努力しても，全く報われないことが多いと思う」という回答の割合（%）

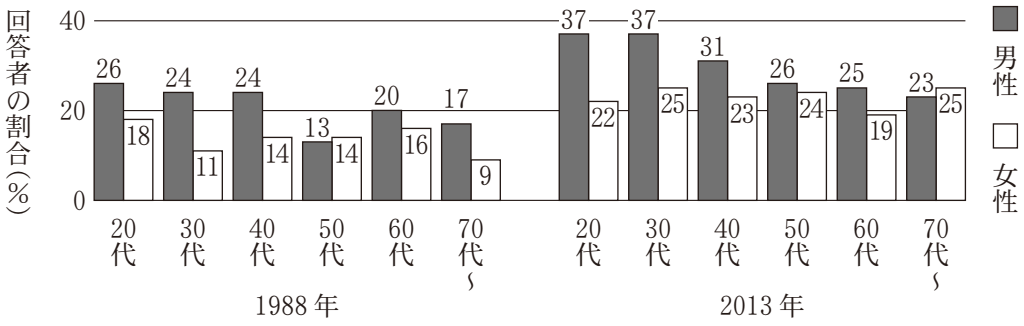
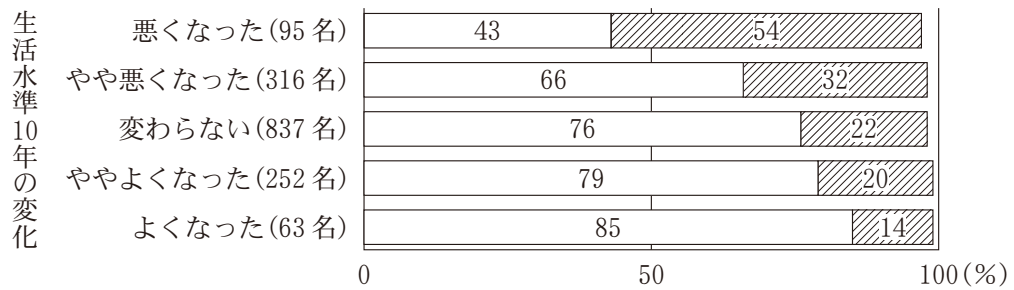


図 2　生活水準 10 年の変化と努力すれば報われると思うかの関連（%）



（注）　**図 1 ・図 2** 中の数値はそれぞれ，項目ごとに，回答した人の割合（%）を表す。「その他・無回答」を除くなどしているため，それぞれの総和は 100 とならない。なお，**図 2** の縦軸に記した人数は，「あなたの生活水準が過去 10 年でどう変わったか」に対する各回答の回答者数を表す。

（資料）　統計数理研究所『日本人の国民性調査』（1988 年，2013 年）より作成。

倫　理

H：今日の授業で配付された**図 1 ・図 2** って，以前議論した努力と運の話に関係ありそうだね。

G：**図 1** を見ると，［ **a** ］。1988 年は景気がよくて，2013 年は景気があまりよくなかった時期だと思うけど，そうした背景との関係はどうなのかな。

H：うーん。2013 年の調査に基づく**図 2** では，［ **b** ］。

G：努力が報われると感じるかどうかは，その人が置かれている経済状況とも無関係ではない気がするなあ。

① **a**　大まかな傾向として，男性については，1988 年でも 2013 年でも，若い世代の方が努力は報われないと考える人の割合が高いね

b　全ての回答を合わせてみると，努力は報われないと考える人の方が報われると考える人より多いね

② **a**　2013 年では，特に女性について，年齢が上がるほど努力が報われないと考える人の割合が低くなる傾向があるね

b　全ての回答を合わせてみると，努力は報われると考える人の方が報われないと考える人より多いね

③ **a**　男女を問わず，1988 年よりも 2013 年の方が，努力は報われないと考える人の割合が増えているね

b　生活水準が悪化したと感じている人ほど，努力は報われないと考えている傾向が見られるよ

④ **a**　努力は報われないと考える人の割合は，大まかな傾向として男性の方が多いけど，2013 年には女性の割合も各世代で増えているね

b　生活水準が「悪くなった」と「やや悪くなった」という回答の合算の方が，「よくなった」と「ややよくなった」という回答の合算より少ないね

問 8　下線部⑪に関して，社会の仕組みや構造を論じた思想家についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

① マッキンタイアによると，現代の資本主義社会においては，本来は自由に生成して秩序を創造し直していくはずの無意識的な欲望の流れを，法や道徳が機械の部品のように作用して制御する構造がある。

② ボードリヤールによると，脱工業化が進展した現代の社会においては，モノがその有用さにおいて使用されるよりも，他者との差異を示すための記号として消費される構造がある。

③ デューイは，狂気を理性から区別して排除していった近代社会の成立をたどり直す中で，学校や職場での教育や規律が人々の自発的な服従を促す，不可視な権力の構造を明らかにした。

④ ソシュールは，無意識的に作られた構造が人間の思考を規定しているという言語学の知見に学び，南米諸部族の親族関係や神話の分析を通じて，未開社会を基礎付ける複雑な思考の構造を明らかにした。

倫　理

問 9　次の会話は，倫理の授業後にGとHが先生と交わしたものである。70 ページの会話も踏まえて，会話中の［ **a** ］～［ **d** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。［ 33 ］

G　：先生，人生は運にも左右されると思いますが，運の違いが生む格差は社会が埋め合わせるべきでしょうか。Hと少し議論になったのですが…。

先生：興味深いですね。二人はそれぞれどういう意見なのですか。

G　：私は，運の違いが生む格差を［ **a** ］のが望ましいと思います。

H　：私は，そうした格差については，［ **b** ］のが望ましいと思いますね。

先生：なるほど。では，なぜ，そう考えるのでしょうか。

G　：そうですね…，社会は公平であるべきだからだと思います。お互いを尊重する社会であれば，自分はここに居ていいと感じることができ，物事を選択する際にも，適度な自信と責任感を持てるはずです。

H　：え？　それでなぜ，さっき先生に言ったような意見になるの？

G　：だって，運の違いが生む格差を社会が［ **c** ］，お互いを尊重できなくなるかもしれないでしょ。

H　：そういう考えだったんだ…。私は，運の違いが生む格差を社会が［ **d** ］，人々がお互いを尊重できないと思っていたんだよね。

先生：二人とも，人々がお互いを認め合って敬意を払い合う社会を望んでいたということでしょうか。

H　：なるほど。Gと意見が一致している面もあるように感じていましたが，敬意という言葉はあまり考えたことがなかったですね。

G　：私も，敬意という言葉を聞いて，理解が深まった気がします。二人でもう一度話し合った方がいいかもしれませんね。

先生：是非そうしてください。運の違いも努力の差も軽視しない社会の仕組みを考え付くことができるといいですね。

① **a**　社会が無理に埋め合わせようとせず，個人の努力をより重視する

b　努力に限界があることを認め，社会が埋め合わせようとする

c　埋め合わせると，かえってお金にばかり人の関心が向いてしまい，世の中で格差が意識されてしまうようになって

d　解決しない場合，不運な人は他の人より多くの努力を強いられるのに，その努力が評価されるとは限らないから

② **a**　社会が埋め合わせ，努力の差を基準にして人を評価することがない

b　不平等だとしても，社会が全てを埋め合わせることには慎重である

c　解決するべき問題だと捉えることで，幸運な人が自身の財産を奪われると言って不運な人を敵視したりして

d　全て埋め合わせようとすると，幸運だとされた人は努力をしていない人だと決めつけられかねなくなって

③ **a**　個人では変えられないものと捉え，社会が責任を持って埋め合わせる

b　社会だけに責任がある問題ではないから，個人が努力で乗り越える

c　埋め合わせない場合には，自分自身で何かを成し遂げたわけでもないお金持ちの中から，お金を持っていない人を見下す人も出てきて

d　解決すべき問題だと捉えない場合，幸運な人が自身の恵まれた環境を当たり前だと思い，努力する人を評価しなくなって

④ **a**　社会のあり方で変わるものと捉え，社会ができる限り埋め合わせる

b　社会も無視できないけれど，努力が報われることの方を重視する

c　埋め合わせなかったら，自分自身が選んだわけではない家庭環境などで評価が決められてしまう社会になりかねなくて

d　埋め合わせる中で，努力まで運のおかげだということになると，努力する人は，自身が適切に評価されていないと感じてしまって